

所報

題字: 武田満之校長(平成9年、野幌中学校)

第146号 令和元年5月27日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町24-6 Tel 381-1058

(主な内容)

- ・第1回小学校外国語教育指導連絡協議会
- ・令和元年度江別市教育研究所事業計画

第1回小学校外国語教育指導連絡協議会を開催

5月16日(木)に、今年度第1回目の小学校外国語教育指導連絡協議会を開催しました。教育研究所長の萬直樹教育部長の挨拶に続き、会長に大麻西小学校の鎌田俊博校長が、副会長に大麻泉小学校に大山敏広教頭が選任されました。

協議では、今年度の事業計画を確認し、各小学校の今年度の外国語教育でどんなことを目指し、どんな取組を予定しているのかなどを交流しました。多くの小学校で目指すこととして共通していたのは、①打合せや授業中での**学級担任とALTとの連携を一層強めること**、②**学級担任が1人もしくはT1で外国語活動の授業をする力をつけること**、③外国語活動に関する**教材や教具、掲示物の整備と整理**、④外国語活動と外国語科の**教育課程の編成**、⑤外国語科の**評価の在り方**などで、そのために外国語活動の授業を観合ったり、ミニ研修を実施したり、掲示物を増やしたり、教育課程を整備したり、情報収集するなどの取組が挙げられていました。

ALTからは、良い授業を行えるように**学級担任を手助けし自信を持たせたい**、子どもたちが英語嫌いにならないように**一人の子どもも置き去りにしないで自信を持たせたい**、学級担任とALTとの**打合せが大切**、**英語の情報を提供したい**、**外国の文化に興味を持つようにさせたい**、子どもたちの前で**学級担任ができるだけ英語を使うようにさせたい**などの意見が出ていました。

黒田浩美巡回指導教員からは、巡回訪問の様子、小学校外国語科の学習評価、今年度にしておきたいことなどの説明がありました。小学校外国語科の学習評価の説明要旨は次のとおりです。

- ①外国語科評価は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点であること
- ②外国語科は「話すこと」が「やり取り」と「発表」に分かれ4技能5領域であること
- ③評価方法としては**授業観察、ふり返しシートや作品、ワークシート**などの提出物、**ペーパーテストやパフォーマンステスト**などが考えられること
- ④「やり取り」の評価方法は一斉だけでは評価できないので、**個別の「やり取り」や児童同士の「やり取り」**が大切になってくること

今年度しておきたいこととしては、

- ①「**児童一人一人に目を向けた授業づくり**」 単元の所々で児童個々の様子を確認し、定着が不十分であれば指導内容の見直しも必要
- ②「**ペア活動、グループ活動を取り入れる**」 コミュニケーション活動に慣れさせる、自尊心や他者理解を高めることにつなげる
- ③「**評価を意識した授業づくり**」 ふり返しシートによる自己評価、「やり取り」「発表」の評価、聞き取りテスト、アルファベットテスト
- ④「**担任主導の授業実践**」 担任がT1で行う授業、担任一人で行う授業(前期・後期1回ずつを目標に)、相互に授業を観合
- ⑤「**教材教具の整備**」 絵カード、ワークシート、CD、DVDなどALTや担任がいつでも使えるように整備

などの5点の取組と「カタカナに頼らない授業づくり」についての説明がありました。

いよいよ来年度からは新しい小学校学習指導要領が全面実施となり、外国語活動については、5・6年は年間70時間実施の教科に、3・4年は年間35時間の必修となります。各小学校が本格的に取り組んでいる力強さを感じた会合となりました。

令和元年度 江別市教育研究所 事業計画

江別市教育研究所は、5月13日(月)に第1回所員会議を開催し、令和元年度の事業計画を次のように決定しました。

1. 所員会議

年間6回の会議を行い、教職員の研修事業、調査研究事業などを進めます。

2. 教職員研修「夏期セミナー」

7月29日(月)から8月1日(木)まで、道立教育研究所をはじめ教育機関等から講師を派遣していただき、4日間8講座を開催いたします。

今年度から原則2時間の講座時間にしました。

3. 調査研究報告書No.35の発行

児童・生徒を中心に学習や生活などに関する意識調査を行い、集計し分析・考察を加えてまとめたものを各学校や教育関係機関に配付します。

今年度は、第一小・豊幌小・第二小・対雁小・大麻東小・第三中・野幌中・大麻東中の8校にアンケートの協力をお願いします。

4. 小学校外国語教育指導連絡協議会の運営

(1)会議開催 年間2回(5月、1月)

(2)研修会 中学校英語授業参観(江別第一中・大麻東中)

小学校外国語活動・英語活動授業参観(文京台小)・意見交換会

(3)指導計画編集委員会 小学校外国語教育についての残された課題について検討する。

5. 江別市体力向上事業

(1)走り方教室 小学生に正しい走り方や練習の仕方などを身に付けさせるために、北翔大学や中学校陸上専門の教職員の協力を得て実施します。

(2)「朝運動プログラム」普及出前授業

学校の要望を取り入れながら、小学校5校で北翔大学の「朝運動プログラム」を出前授業します。

今年度は江別第二小、大麻西小、中央小、上江別小、野幌若葉小で実施します。

6. 所報の発行

教育長の挨拶、研究所事業計画・報告、小学校外国語教育の推進と報告、体力向上の推進と報告、夏期セミナーの案内と報告、道研連研究大会の報告などの内容で、年間7回程度発行し情報提供します。

7. 令和元年度 江別市教育研究所体制

役職	氏名	所属
所長	萬直樹	教育部長
副所長	谷口圭吾	学校教育支援室長
副所長	松井卓	上江別小学校長
所員	重山麻人	豊幌小学校教諭
所員	中村玲太	豊幌小学校教諭
所員	龍本英紀	江別第一中学校教諭
所員	遠藤絵里	江別第二中学校教諭
所員	田邊律子	中央中学校教諭
事務局長	島田茂	教育研究所
事務局次長	末金拓真	学校教育係主事

